

## 1. はじめに

平成 21 年から始まった障害者制度改革では、障害者基本法の改正、障害者総合支援法の制定に引き続き、昨年 6 月障害を理由とする差別の解消の促進に関する法律（障害者差別解消法）の制定がありました。法律の施行は平成 28 年度からですが、国ではいま差別解消のための基本方針・対応要領・対応指針の取りまとめが行われています。また、千葉県から始まった障害者差別禁止の条例作りは、北海道・岩手県・さいたま市・熊本県・八王子市・長崎県・沖縄県と広がっています。一方、障害者制度改革が当面の目標としていた障害者権利条約は 1 月 20 日に国会で承認され、2 月 19 日に日本の条約批准が国際的な効力を持ちました。

このような状況の中、協会は障害者制度改革の推進に注力して、東京都福祉保健局との懇談会や都議会各会派との予算ヒアリングを行い、東京都の要約筆記者派遣事業の再構築、中途失聴・難聴者のコミュニケーション学習の充実、バリアフリーな街づくりなどの施策を求めてきました。また、協会の社会的活動を強化するために 8 月には認定 NPO の資格を取得し、事業委員会・広報委員会・防災委員会の活動を本格化させて協会活動の活性化と組織の強化を図ってきました。特に認定 NPO の取得は協会の活動に対する社会の一定の評価の現れであると同時にその社会的責任を自覚させるもので、自助・共助に加えて新しい公共の担い手としての協会活動が求められています。

## 2. 協会の対外活動

平成 25 年度の協会の対外活動は、東京都の要約筆記者派遣事業の拡充・強化を求める行動を中心に進められました。

平成 25 年 4 月 1 日より施行されている障害者総合支援法は「専門性の高い意思疎通支援を行う者（手話通訳・要約筆記者）を養成し又は派遣する事業、意思疎通支援を行う者の派遣に係る市町村相互間の連絡調整その他の広域的な対応が必要な事業」を都道府県の必須事業としています。しかしながら、東京都の平成 25 年度事業実施は「市町村相互間の連絡調整」のみで、「意思疎通支援を行う者の派遣の派遣事業」は平成 26 年度以降の事業実施となりました。また、3 月に発表された「東京都聴覚障害者意思疎通支援事業（広域型行事への意思疎通支援者派遣）運営要綱」は、事業内容を「障害者団体又は障害者支援団体が、主催又は共催する広域型行事及びその準備のために必要な会議等へ意思疎通支援者の派遣」に限定しており、団体の活動を広く支援する内容となっておらず、平成 26 年度からの協会活動を大きく制限するものになっています。

一方、コミュニケーション学習やバリアフリーな街づくりに関しては、東京都読話講習会の多摩地域開催の具体的準備や東京都手話通訳等養成講習会指導者クラスのカリキュラム見直しなどなど一定の前進がありました。コミュニケーション学習の充実、小中学校をはじめとする社会への聞こえの啓発活動、会議施設への磁気ループの設置などの解決には区市町村での活動が非常に重要となります。そのため協会では「地域活動強化プロジェクトチーム」を立ち上げ、区市町村の中途失聴・難聴者組織と連携を進めました。

## 3. 協会の対内活動と組織強化

### 3.1 対内活動

協会の対内活動は平成 25 年度事業計画に沿って進められました。10 月の第 28 回「東京都中途失聴・難聴者の集い」では、宇崎竜童氏の講演をはじめ多彩な企画が実施され、500 名を超える参加者を迎えて協会内外の中途失聴・難聴者の盛大な交流を実現しました。また、前年度同様「地域コミュニケーション講座」や新宿区社会福祉協議会との共催事業「聞こえに関する連続講座」を開催し、地域での中途失聴・難聴者の自立のための学習活動を実施しました。その他、「高齢難聴者生きがい講座」、「手話講習会応用クラス」、「実践読話講習会」などを例年通り開催しました。協会が実施する講座、講習会は中途失聴・難聴者が互いに交流、助け合いを通じて学習を重ねる重要な活動の「場」となっています。一方各専門部は個別の活動の中で協会の事業目的の達成に努力し、サークルは協会員の交流の場として、非常に大きな役割を果たしました。非協会員や支援いただく人への働き掛けなど多くの課題を抱えています。今後とも専門部・サークルの活動を中途失聴・難聴者の自助・共助の「場」として強化していきたいと考えます。

### 3.2 組織強化

協会は昨年度協会組織強化のために事業委員会、広報委員会・防災委員会の三つの専門委員会を設置し、今年度よりそれぞれの委員会活動を本格化させました。事業委員会では既存の協会事業の点検を進めると同時に、次年度の助成事業の提案を行い、来年度事業として日本財団、NHK 共同募金、日本社会福祉弘済会から助成を受けることが出来ました。広報委員会では協会ニュースやホームページの見直しを進めると同時に、オラクル有志の会の助成を受けて協会の紹介パンフレットを作成しました。また、防災委員会では、防災教育の実施など協会レベルでの防災活動の在り方の検討を進めました。専門委員会・専門部・サークルの活動詳細はそれぞれの報告を参照願います。

### 3.3 協会財政

数年来の課題となっけています会員拡大に関して、各種の講座・講習会や協会内外の集まりで協会紹介パンフレットを活用した会員の拡大を図ると同時に、賛助会員入会の依頼を医療関係や補聴器販売店などに対して行いましたが、平成 25 年度の会員数は目標 688 名に対し 660 名に止まりました。会員数の伸び悩みは、協会活動を支える人材の不足を招くと同時に、協会会計を圧迫する大きな要因となっています。今年度は集いなどの収入増加、寄附金の増加で収支不足は避けられましたが、次年度以降認定 NPO としての協会活動をより一層活発にすることで寄附金の一層の増加を図り、財団・行政よりの補助金・助成金を活用して協会事業を拡大していきたいと考えます。

## 4. まとめ

NPO 法人化して 10 年を経過し、協会は昨年 2 月に認定 NPO の申請を東京都に行い、8 月 7 日無事認定 NPO を取得しました。最新の内閣府のホームページには、一般（認証）NPO は全国で 48,854、そのうち認定 NPO は 401（内、仮認定 129）と記載されています。また、東京都に限定すると、3 月 31 日現在の認定 NPO は 64、仮認定 39 となっています。このように、認定 NPO の取得のハードルは高いものであり、今回の認定 NPO 取得は中途失聴・難聴者の当事者団体としての協会の活動に対する社会の評価の現れであると同時に、協会に積極的な社会的責任を果たすことを求めるものといえます。協会は定款に「都内在住の中途失聴者、難聴者をはじめ、広く聴覚障害者全般に対して、福祉の増進と、生活・文化の向上を図る事業を行い、地域社会に寄与する」とあるように、会員の自助・共助の場であるとともに公共的な役割を担っています。協会員一人ひとりが協会活動に参加できる環境を整え、活動の内容を広く社会に公開しながら、協会活動のより一層の拡大・充実を図っていきたいと考えます。

事業報告(一覧)

1. 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	人数
中途失聴者、難聴者の社会参加のための調査・研究、施策のための提案事業	人工内耳入講門座	平成 26 年 1 月 11 日	調布市文化会館たづくり	65
	福祉対策・コミュニケーション関連部活動	年間	東京都障害者福祉会館 他	140
中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの充実のための社会教育事業	聴覚障害者コミュニケーション教室	月 1 回、年間 9 回	東京都障害者福祉会館	238
	実践読話講習会	月 2 回、年間 18 回	東京都障害者福祉会館	330
	地域コミュニケーション啓発講座	年間 5 回	羽村市・荒川区・大田区・足立区・東京都障害者福祉会館	223
	地域福祉・相談支援ゼミ	年間 20 回	東京都障害者福祉会館	1348
	応用手話講習会	月 2 回、年間 20 回	東京都障害者福祉会館、多摩障害者スポーツセンター	1256
	新宿区社協共催事業	年間3回	新宿区社会福祉協議会	81
	講師等派遣	国立身体障害者リハビリテーションセンター学院・世田谷福祉専門学校・手話通訳等派遣センター 他		44
中途失聴者、難聴者の諸問題の解決のための情報収集、提供事業及び他団体との連絡調整	「協会ニュース」発行	月 1 回	当会事務所	60
	テキスト・ビデオ作成	年間	当会事務所 他	10
	ホームページ運営	随時更新	当会事務所	36
	刊行物・耳マーク仕入れ	年間	当会事務所	36
	第 28 回集い	平成 25 年 10 月 27 日	オリンピックセンター	500
中途失聴者、難聴者にかかわる相談、支援事業	高齢難聴者生きがい講座	年 12 回	東京都障害者福祉会館	247
	中途失聴者・難聴者相談事業	随時	当会事務所	50
	中途失聴者・難聴者地域支援事業	随時	当会事務所	100
中途失聴者、難聴者の文化・芸術、スポーツの振興を図る事業	文化部各サークル等	月 1～2 回	東京都障害者福祉会館 他	2000
コーディネーター	高齢難聴者生きがい講座・実践読話講習会・地域コミュニケーション啓発・地域福祉相談支援ゼミ等事業計画・進行管理・会計処理・事務処理	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日	当会事務所	168

2. 収益事業

自動販売機による委託販売

東京都庁第一本庁舎鍛冶屋橋クラブ・東京都江戸博物館・東京都第五建設事務所・東京都七生福祉園、東京しごと財団(2台)・東京都第六建設事務所

事業報告

**事務局**

1.体制

事務局長:高岡芳江 職員:毛塚節子、坂部美秋、高田香苗、高橋貴子、松枝朋美、木野理恵

2.活動報告

- ・理事会(4/27・5/9・5/19・6/15・7/27・8/24・9/21・10/29・11/16・12/21・1/18・2/22・3/22)
- ・東京都福祉保健局との懇談会(7/11)
- ・新宿区社会福祉協議会共催事業「聞こえの問題を考える連続講座」  
9/21(28名)・10/26(25名)・11/16(28名)
- ・「手話・字幕付胃検診」受付 9/7(11名) 10/5(9名)・11/16(22名)
- ・高齢者対象「手を動かそう」月1回第1金曜日11回実施。
- ・協会ニュース発送 毎月1回 第2土曜日 12回 会員有志の協力
- ・「第43回耳の日記念文化祭」参加(3月1日・2日)
- ・「自立支援センターまつり」参加(7月15日)
- ・相談員派遣:かがやき夢工場相談員派遣(月1回毎回2名) 4月～3月 第3木曜日 午後1時～5時
- ・例会 毎月第4日曜日 12回

実施日	テーマ	参加者
4月28日	障害者総合支援法と地域生活支援事業における 意思疎通支援について学ぶ	49
5月19日	通常総会	70
6月23日	健康体操「ラフターヨガ」	45
7月28日	要約筆記者と一緒に話そう	27
8月25日	防災～日常からの備えがいざというときに役立つ～	30
9月23日	知っているようで知らない缶詰のお話	27
10月27日	集い	500
11月24日	新入会員説明会・交流会	63
12月22日	クリスマス会	65
1月19日	職場のコミュニケーション、勉強会	42
2月23日	聞こえの商店街	94
3月23日	目からうろこのバリアフリー ～みんなが笑って暮らせる社会を目ざして～	72

**事業委員会**

1.体制 委員長:新谷友良 委員:高岡芳江・小橋由里子・小笠原晶子

2.活動報告

- (1)委員会開催 5/23・7/17・9/25・10/8・11/6・1/22・2/12・2/26・3/12
- (2)関係会議等 10/8・2/26(日本財団助成事業) 11/21(運営担当者懇談会)  
4/18(日本財団訪問) 5/21・6/18(新宿区協働事業関連)  
9/13(愛知県扶桑町扶桑中学校視察[福祉実践教室])  
2/19(都庁教育庁訪問・地域教育推進ネットワーク東京都協議会)
- (3)既存事業について:運営担当者と3回会合を持ち、各講座の進展状況確認と課題や検討事項について  
意見交換を行った。また各事業に新たに関わる講師助手等対象に研修を実施した。

【中途失聴・難聴者のコミュニケーション充実のための社会教育事業】

①高齢難聴者生きがい講座

平成25年6月24日(月)～平成25年3月24日(月) 原則第4月曜日12回

会場:東京都障害者福祉会館

講師:(読話)桜井武志・(手話)高田香苗

開催日(参加者数):6/24(31)・7/22(28)・8/26(32)・9/23(24)・10/28(23)・11/4(10)・11/25(21)・12/16  
(18)・1/13(8)・1/27(19)・2/24(16)・3/24(17) 合計247名

②手話講習会応用(三田Ⅰ/Ⅱ・多摩Ⅰ/Ⅱ)

◇三田応用 I / II 平成 25 年 4 月 25 日～平成 26 年 3 月 13 日 計 20 回

会場:東京都障害者福祉会館

講師:橋本美知子・中村みずほ

開催日(参加者数)

【応用 I】4/25(30) 5/9(25) 5/23(23) 6/13(26) 6/27(25) 7/11(22) 7/25(25) 8/22(20) 9/12(27) 9/26(27) 10/10(18) 10/24(22) 11/14(16) 11/28(19) 12/12(21) 1/9(14) 1/23(17) 2/13(21) 2/27(18) 3/13(22) 延 438 名(受講者 32 名)

【応用 II】4/25(25) 5/9(24) 5/23(22) 6/13(23) 6/27(23) 7/11(23) 7/25(219) 8/22(19) 9/12(23) 9/26(17) 10/10(20) 10/24(20) 11/14(21) 11/28(17) 12/12(22) 1/9(21) 1/23(18) 2/13(21) 2/27(19) 3/13(21) 延 420 名(受講者 24 名)

◇多摩応用 I / II 平成 24 年 4 月 16 日～平成 25 年 3 月 11 日 計 20 回

会場:多摩障害者スポーツセンター

講師:坂山己世・安雙八重子

開催日(参加者数)

【応用 I】4/16(9) 5/14(8) 5/28(9) 6/11(9) 6/25(9) 7/9(8) 7/23(9) 8/27(9) 9/10(9) 10/1(8) 10/8(6) 10/22(9) 11/12(6) 11/26(8) 12/10(8) 1/7(7) 1/28(8) 2/4(6) 2/25(8) 3/11(8) 延 161 名(受講者 9 名)

【応用 II】4/16(13) 5/14(13) 5/28(13) 6/11(13) 6/25(12) 7/9(12) 7/23(11) 8/27(11) 9/10(12) 10/1(12) 10/8(10) 10/22(12) 11/12(12) 11/26(11) 12/10(11) 1/7(12) 1/28(12) 2/4(12) 2/25(11) 3/11(12) 延 237 名(受講者 13 名)

### ③実践読話講習会

平成 24 年 6 月 5 日(水)～平成 25 年 3 月 5 日(水)毎月第 1・3 水曜日 18:30～20:30

年間 17 回(開講式・修了式・講演会1回を含む)

会場:東京都障害者福祉会館 B1

受講者:25 名(延べ 288 名)

6/5(22 名) 6/19(22 名) 7/3(19 名) 7/17(17 名) 8/7(14 名) 9/4(15 名) 9/18(16 名)

10/2(17 名) 10/16(13 名) 11/6(16 名) 11/20(16 名) 12/4(16 名) 12/18(16 名) 1/15(17 名)

2/5(17 名) 2/19(18 名) 3/5(17 名)

講師:桜井武志 補助員:有馬富江・大庭由江

◇多摩特別教室 4 回 会場:東京都多摩障害者スポーツセンター 集会室 A、B

受講者 12 名(延べ 42 名) 9/2(10 名) 9/9(12 名) 9/30(11 名) 10/7(9 名)

講師:桜井武志 補助員:丸山文子・小林圭子

### ④東京都中途失聴・難聴者手話講習会

### ⑤地域福祉相談支援ゼミ

### ⑥講座運営スタッフ研修 4/27(土)「協会について:講習会・講座スタッフとして注意したいこと」等

### (4)講師派遣事業

①東京手話通訳等派遣センター「東京都手話通訳等養成講習会」6/19 6/26 7/3 7/10 8/21

②国立障害者リハビリテーション学院手話通訳学科1、2年 9/11 9/18 10/9 10/16 10/23

③世田谷福祉専門学校 9/11 9/18 10/9 10/16 10/23

④新宿区社会福祉協議会共催事業 9/21 10/26 11/16

⑤町田市社会福祉協議会・中野区中途失聴・難聴者の会・東村山市要約筆記サークル

### (5)新規自主事業の開発について

#### ○助成事業決定

①共同募金会 NHK 歳末たすけあい配分「聞こえに関するブックレット」作成

②日本財団「中途失聴・難聴者対象コミュニケーション指導者の養成」

③日本社会福祉弘済会「啓発講座講師養成事」

#### ○助成申請・不採択・辞退

①2013 年度パルシステム東京市民活動助成基金(不採択)

②年賀寄附金(日本財団助成決定のため辞退)

## (6)その他

### ①新宿区社会福祉協議会共催事業への提案 3回開催決定

## 広報委員会

---

NPO法人にふさわしい広報活動に向け、協会の広報媒体を見直し、刷新に努めた。

### 1. 体制

委員長:新谷友良 委員:木本練子・寺田翔・皆川みさ子 事務局:高岡芳江

### 2. 活動報告

(1)委員会を開催した。4/9・6/11・8/6・9/10・11/12・12/10・2/11・3/11

(2)「協会ニュース」について、会報編集部と内容・編集作業の見直しを進めた。

(3)協会ホームページについて、協会事務局と協力して掲載基準に沿って定期的に更新できるよう努めた。

(4)助成金を得て協会紹介のパンフレットを作成し、対外的な広報活動に活用した。

## 防災委員会

---

### 1. 体制

委員長:小川光彦 委員:名倉順子・有馬富江・小笠原晶子

### 2. 取り組み状況

・防災委員会は24年2月に理事会で立ち上げた。

協会の防災活動の方針、他団体との防災活動、行政要望等を担う。

・8月例会(8/25)「防災～日常からの備えがいざというときに役立つ～」を担当。都から講師を招き、震災に備えた東京都地域防災計画の取り組みなどを学び、会員の中の防災意識啓発につなげる内容で実施。

・9月1日、中野区の総合防災訓練(要約筆記付き)を見学。その他随時協会ニュースでの報告。

・委員会開催7回(4/28・6/23・7/27・8/25・9/22・1/18・3/18)

### 3. 課題

・災害時の協会内連絡体制の整備

・会員自身の防災力向上の取り組み

防災啓発行事の開催、防災情報の共有、身を守る視点の情報など

・委員補充および、課題検討態勢の整備

・ニュースへの定期掲載体制

・関係団体との協働

## 地域活動強化プロジェクトチーム

---

### 1. 体制

明田美奈子・有馬富江・小島敦子・高岡芳江・皆川みさ子

### 2. 活動報告

・2013年10月に理事会の承認を得てチーム発足。

・目的:協会と地域の会がお互いを尊重し、協力しあって活動していくためにはどのような取り組みが必要かを考えていく。

・会議開催:10/31・11/28・2014年1/9・3/13

・3/9 調布市文化会館たづくりで「地域の声を聞く会」を実施。

12地域から参加があり、各地域の会設立経過や活動状況の報告を受けた。

・3/22 第13回理事会にて中間報告をした。

## コミュニケーション対策部

---

### 1. 体制

部長:福田能文 部員:2名 ボランティア協力:3名

### 2. 活動報告

3年前から始めた「コミかるカフェ作ろう!」が好評で、計画通り年4回実施。このカフェの特徴としては、難聴者の生活に密着したテーマを掲げ、話し合いの場を設けていることである。手法としては協会内で唯一ワークショップを導入し、参加者のエンパワーメントに寄与している。

これまでテーマとして就労問題を取り上げ、累計 6 回を数え、教材開発にも着手した。こうした先駆的な取り組み姿勢は協会の他の部にも影響を与えている。

毎年3月には防災関係を実施し、東日本大震災を風化させないという使命をもち、地道な努力を続けている。この他、フィリピンで台風被害にあった障害当事者をゲストに招いて新聞では報道されない海外の聴覚障害者の暮らしを知る機会を提供し、国際的視野と独自の人脈を持って活動している。

	日付	タイトル・テーマ	参加者数	うち 非会員数
第 15 回	9 月 5 日	職場のコミュニケーション(5) ～より良い職場環境を作るには？～ 課題提起・整理編	24	15
第 16 回	9 月 18 日	職場のコミュニケーション(6) ～より良い職場環境を作るには？～ 理解・話し合い編	18	8
第 17 回	3 月 6 日	フィリピンにおける台風 30 号被災と支援活動報告 ～聴覚障害者との活動を通じて感じたこと～	11	1
第 18 回	3 月 20 日	要支援者ってだれ！？ ～地域の聴覚障害者防災～	9	2

## 福祉対策部

### 1. 体制

部長:小川光彦 副部長:寺田翔 会計:今井節子

構成人数:9人 上記の他、名倉克己、高橋一也、宇賀神聡子、神野見帆、宮本忠司、吉野満生

### 2. 活動報告

#### (1)参政権活動

6/23 都議選 7/21 参院選 2/9 の都知事選向け参政権活動に協力

#### (2)施設・交通アクセシビリティ

アクセシビリティ関連事例の収集、チェックシート作成の取り組み

#### (3)その他

・部会実施 5/8 5/27 6/24 7/22 11/25 12/12 1/29 3/21 計8回

・5/29 テクノエイド機器ヒアリング協力

・9/30 総務省字幕ヒアリング協力

・協会ニュースへ随時福祉関係情報提供

・防災連絡システムの検討及び配信の試行

2/14(大雪時の交通混乱) 1回

・地域の防災訓練参加及び啓発の推進 9/1 中野区

・協会諸行事の実施協力

### 3. その他

7/12 対東京都要望交渉

## 要約筆記普及部

### 1. 体制

部長:神野見帆 副部長:高岡芳江 部員:3名

### 2. 活動報告

(1)7月例会担当(7/28)「要約筆記者と一緒に話そう」

東京都登録要約筆記者の会(登要会)をお招きし、現場で働く要約筆記者と意見交換をした。利用者の立場から要約筆記に対する疑問を出し、より身近に感じてもらった。

(2)要約筆記普及部学習会(3/19)「要約筆記を知る」

要約筆記の基本を据えたうえ、利用者として気をつけることは何かを学んだ。ディスカッションで意見を聞くことで、伝えるための要約筆記について整理し、上手に利用することの再確認をした。

(3) 部会開催 3/27

(4) 課題 部会の開催が少なかった。少数精鋭で業務改善を図り、事業計画案に沿って実施する。

## 手話対策部

---

### 1. 体制

部長: 明田美奈子 副部長: 今井節子・坂山己世 会計: 入月幸子 部員: 29 名

### 2. 活動報告

(1) 部会 毎月第 1 月曜日 18 時 30 分～

(2) 部内研修

自己啓発のための研修会(3 回)

・石原茂樹先生による 7 ポイント等の学習(2 回) 11/11・2/3

・小林順子氏による中途失聴者、難聴者の手話講習会のあり方、歴史を学ぶ 1/6

(3) 自主学習会

・板宮由美子先生による指導ノウハウ(5 回) 6/26・7/31・10/30・12/18・1/29

(4) 会員のためのミニ手話講座(1 回) 9/8(13:30～16:30) 参加者 56 名

(5) 協会行事協力

・3 月例会担当: 中野佐世子氏講演会 手話通訳は部員によるボラ協力

・その他: 集い実行委員選出、要員協力

## 会報編集部

---

### 1. 体制

部長: 木本練子 会計: 中村道

### 2. 活動報告

(1) 会報「協会ニュース」の編集(毎月第 2 土曜日発行)No.323～No.335(2013/ 4～2014/ 3)

(2) 編集会議(毎月第 2 水曜日)を開催

25 年: 4/10 5/8 6/5 7/10 8/14 9/11 10/9 11/13 12/11

26 年: 1/8 2/12 3/12

(3) 初校チェック コロニーからの初校を複数のメンバーでチェック

25 年 11 月より(月末の水曜日) 11/27 12/25 1/29 2/26 3/26

・今年度より初校をできるだけ全員でチェックするようにしました。

(4) 第 28 回「集い」で記録写真の撮影

## 組織部

---

### 1. 地域ネットワーク活動

地域での中途失聴・難聴者及びその支援者の組織化を進め、地域活動と協会活動の連携を強化する活動を行った。

(1) ネットワーク・ニュースの発行: 年間 12 回発行。

(2) 「地域ネットワークを語る会」兼地域コミュニケーション講座を 2 月 9 日東京都障害者福祉会館において開催。

(3) ネットワークメンバー拡大: 平成 26 年 3 月末現在メンバー数 80 人



## 2. 地域コミュニケーション講座の開催

地域ネットワークの活動に平行して、地域での聞こえに困っている方を対象にその社会参加を促す地域コミュニケーション講座を以下5箇所で開催した。

	羽村市	荒川区	大田区	足立区	都内全域対象
開催日	25年5月12日	7月6日	9月21日	26年2月1日	2月9日
開催場所	羽村市ゆとろぎ	アクロスあらかわ	大田区民センター	足立区勤労福祉会館	東京都障害者福祉会館
共催地域団体	—	—	—	—	—
テーマ	聞こえに困って、見るもの、聞こえるもの	聞こえとコミュニケーション	口を読み取ってみよう	聞こえに困っている人へのサポート	住み良い地域への活動を目ざして
講演・講師	新谷友良氏	西尾彰子氏	櫻井武志氏	馬屋原邦博氏	新谷友良氏

3. 協会例会として、11月24日新入会員対象の説明会・交流会を担当し、協会活動と今後の協会活動を担っていく人材発掘に努めた。

4. 上記事業計画を実行するため、月1回の組織部会を開催した。

## 【多摩会】

### 1. 体制

役員：安野イヨ子・金子キミ子・三妻邦子・渡辺恭子 会計：金子キミ子

例会：毎月第2日曜日午後1時30分～4時30分 役員会：例会当日午前10時30分～12時 休会年3回

会場：多摩障害者スポーツセンター集会室ほか

### 2. 活動報告

例会日	内容	参加者数	情報保障	会場
4月14日	手話の学習「単語のよみとり」	16	OHP 4人	多摩スポーツセンター
5月12日	野外活動 多摩動物園	11	手話通訳1人	多摩動物園
7月14日	手話の学習 講師：高桐尊史氏	難聴者 22 健聴者 9	なし	多摩スポーツセンター
8月24日	納涼会	12	なし	八王子
9月8日	梨狩り	7	なし	稲城市清玉園
11月10日	座談会	11	なし	多摩スポーツセンター
12月8日	食事会	15	なし	首都大学東京南大沢 国際交流館内 フランス料理店
3月17日	「笑いヨガ」 講師：加藤良江氏 助手3名（工藤氏、大村氏、深町氏）	15	OHP 4人	多摩スポーツセンター

※休会 6月、10月、1月、2月（大雪のため中止）

## 実年部

### 1. 活動報告

(1) 役員会：毎月第1木曜日 13:30～

(2) 例会行事：毎月第3金曜日 年7～8回

(3) 協会ニュースに例会報告等を掲載した。

(4) 年1回協会例会担当

(5) 協会行事への参加協力（総会、集いなど）

(6) 定例会は下記のとおり実施した。 会場：東京都障害者福祉会館 (延べ 225 人)

例会日	行事内容	人数	役員会	関係行事・その他
4月19日	料理教室(水餃子)	17	4月4日	
5月	協会総会		5月5日	国分寺市
6月21日	講演会(手話と共に)	32	6月6日	
7月19日	室内例会(わノ会)	42	7月4日	自立センターまつり
8月	休会		8月8日	
9月22日	協会例会担当(缶詰の話)		9月5日	
10月18日	野外例会(昭和記念館)	22	10月3日	集い
11月15日	講演会(お母さん助けて)	32	11月7日	
12月	協会クリスマス会		12月5日	三田障害者福祉会館
1月17日	初詣(靖国神社)・新年会	28	1月9日	全難聴大会(沖縄)
2月21日	講演会(森せい子氏)	29	2月6日	
3月21日	耳の日 室内例会(お茶会)	23	3月6日	

※活動の方針 室内例会と野外例会を主に実施する。

室内例会 日常に役立つ問題の勉強(補聴器・コミ講座・健康講座・体験談発表)

野外例会 社会施設訪問(工場見学・市場見学・施設めぐりなど)

## 女性部

### 1. 体制

部長：森朱実 会計：東保子 協力支援員：前田・大山・島田 他4名

### 2. 活動報告

例会：毎月第1土曜日 午後1時30分～5時

役員会：毎月第3水曜日 午後1時30分～4時

会場：東京都障害者福祉会館

実施日	行事内容	参加者数	関係行事	役員会議
4月7日	お花見(井の頭公園)30名申込 雨天中止	有志 9人		4月17日
5月4日	ミニ読話講座 講師：桜井武志氏	27人	関東難聴女性部長会議 協会総会 喫茶5月	5月15日
6月1日	健康体操(手話ダンス) 支援協力：島田律子氏	29人	関東難聴ブロック女性部総会(1名)	6月19日
6月23日	ラフターヨガ 講師：田所マリイ氏他2名	56人		
7月6日	総会県部会議(例会お休み)		全難聴女性部県部会総会大阪	7月17日
8月3日	お盆休み		国際交流室会議(3名)	8月21日
9月7日	布ネックレス 支援員：浅見和子氏	30人		9月18日
10月5日	朝日新聞社見学(10名限定文字通訳)	10人 422人	全難聴関東ブロック研修会(新潟：東京3名)★第29回中難協会集い	10月16日
11月21日	手作りを楽しむ(布コサージュ) 野外活動 9名	23人		11月20日
12月23日	協会行事クリスマス	65人	協会行事：クリスマス会	12月18日
1月7日	初詣・新年会(深大寺&新年会)	15人	全難聴福祉大会(沖縄)	1月15日
2月4日	語り合う集い 支援協力者：徳永氏	32人		2月19日
3月	耳の日のため休会	2人	関東難聴者女性部長会議(横浜) 3月17日(1名)	3月19日

## 青年部

### 1. 体制

部長:寺田 翔 副部長:石川寛和 会計:酒井宏長 企画:畠山夏美 相談役:岩崎幣介 部員:7名

### 2. 活動報告

4月	交流会(Social Cafe Sign with Me)
7月	東京聴覚障害者自立支援センターまつりにて 青年部企画「みんな de ディスカッション」
11月	難聴児を持つ親の会合同企画および交流会
12月	忘年会兼クリスマス会
1月	協会1月例会担当「職場のコミュニケーション、勉強会。」

## 文化部

### 【手話サークル 三田昼】

活動日:毎月第2金曜日・土曜日(13時30分～15時30分)

毎月第4土曜日・合同(10時00分～12時00分)

講師:第2金曜日・土曜日:五十嵐郁子先生

第4土曜日・合同日:内山伸子先生(～9月) 長沼知子先生(10月～)

会員:60名(25年度退会4名、新入会6名)

会議:月1回

交流会:6月サークル立ち上げ20周年 芝 料亭「牡丹」にて食事会 12月クリスマス交流会

### 【手話サークル 三田夜】

#### 1. 体制

##### (1) 運営委員

代表:関根一喜 副代表:窓口:山本寿満子 総務:篠崎小夜子

会計:笹岡和子 総務会計補佐:浦山英佐子 会計監査:飯泉正子

(2) 指導者 ふくろうクラス:宮本正明氏 みみずくクラス:小野孝枝氏

(3) 会員 ふくろうクラス・みみずくクラス合計 期首58名 期末55名

(4) 運営会議 原則毎月1回、サークル活動日の午後開催

(5) 活動日 毎月第1・第3土曜日、午後6時～8時

(6) 活動内容 手話の学習と交流を通じて、会員相互の理解と親睦を深める

#### 2. 活動報告

(1) 学習日 上期・9回 下期・10回

(2) 行事日 4月20日:全体会(総会) 8月17日:納涼会(参加42名)

11月30日～31日:北茨城の紅葉と磯原温泉の旅(参加27名)

12月21日:忘年会(参加35名) 1月11日:七福神巡り(参加15名) 新年会(参加29名)

※サークル創立20周年記念事業として

6月21日:20周年記念講演会(講師:宮田和実:参加54名)

3月15日:20周年記念略史配付

### 【多摩手話サークル】

#### 1. 体制

代表:秋山孝子 副代表:志村瞳 会計:青木百合江 部員:26名

例会日 毎月第2、第4木曜日(高田香苗講師)

会場 多摩障害者スポーツセンター 時間 午後1時30分～3時30分

#### 2. 活動報告

4/11(総会)・4/25・5/9・5/23・6/13・6/27・7/11・7/18(講演会)・8/8(夏休み)・8/22(納涼会)・9/12・  
9/26・10/10・10/24(野外活動)・11/14・11/28・12/12・12/19(クリスマス会)・1/9・1/23(新年会)・2/13・  
2/27(反省会)・3/13・3/27(役員改選)

【多摩火曜手話サークル】

・会場 東京都多摩障害者スポーツセンター ・日時 原則として第1・第3火曜日 13:30～15:30

月日	内容	別会場	参加者数
4月 2日	第8回定期総会		23
4月 16日	挨拶の表現練習:「講演会」と「創立パーティ」	小金井会場	22
5月 7日	会話文の練習:「ホテルのフロント係と宿泊客」	小金井会場	25
5月 21日	漢字クイズと二字熟語を作る		29
6月 4日	会話文の練習:「旅行会社と企画相談 1」		30
6月 18日	漢字クイズと文章表現		27
7月 2日	会話文の練習:「旅行会社と企画相談 2」	小金井会場	25
7月 16日	都道府県名と政令都市名	小金井会場	19
8月 6日	夏休み		-
8月 20日	夏休み		-
9月 3日	会話文の練習:「旅行会社と企画相談 3」		26
9月 17日	二字熟語を作る:短文の手話表現練習	小金井会場	21
10月 1日	会話文の練習:「旅行会社と企画相談 4」	小金井会場	25
10月 15日	漢字クイズ:短文の手話表現練習		24
11月 5日	会話文の練習:「旅行会社と企画相談 5」	小金井会場	28
11月 19日	会員7人のスピーチと読み取り(運営委員会)		26
12月 3日	会話文の練習:「駅員と旅行者」		27
12月 17日	クリスマス交流会		27
1月 7日	都合により休講		-
1月 21日	クロスワードパズル:昔話「うさぎとかめ」の表現相談		27
2月 4日	「うさぎとかめ」グループで表現発表	小金井会場	21
2月 18日	四字熟語と「あ」の付く単語の手話表現		19
3月 4日	「新しい手話 2014」からの手話表現		25
3月 18日	新入会員の面接(運営委員会)		

【三田書道サークル】

1. 体制

代表:片山善衛 会計:神林喜世子 部員:11名

講師:木下修子

例会:毎月第1・3木曜日 午後1時30分～4時 ※OHPつき、月謝:2000円

会場:東京都障害者福祉会館

2. 活動報告

学習は中国古典の書聖、王羲之と初唐の三大家である欧陽詢、虞世南、褚遂良そして我国の古典三跡といわれる小野道風、藤原佐理、藤原行成の各名筆をお手本にし、臨書の勉強をしました。作品は耳の日記念文化祭に展示して、皆さまのご評判をいただきました。

【生け花教室】

1. 体制 代表:飯野堯子 副代表:中村久実子 部員:6名

活動日 毎月第1・3水曜日(月により第2・4水曜日変更あり)

午後6時～9時(この間はお稽古自由) 東京都障害者福祉会館

2. 活動報告

今年も3月福祉会館での「耳の日」に出展できました。多くの来場者の方々に春の息吹を感じていただける作品を覗く機会を得て今後の勉強の励みになりました。2月には毎年恒例の銀座・松屋デパートで開催の「古流展」に代表が、現代花でバイオリンケースを花器にし、水仙・こでまり・ブロッコリンを材料に春を感じる作品に仕上げ、ご来場頂きました方々に、高い評価を得ることができました。今年も流派にこだわらず、日本の生け花展に足を運び大変勉強になりました。

### 【手話コーラスすみれ会】

1. 体制 代表:堀江晴子 運営委員:宮坂喜美子・所たづる・渡辺敏子 会員 15名

#### 2. 活動報告

例会:毎月第1・第3水曜日 13:30~16:00 東京都障害者福祉会館

活動暦17年。12月22日の協会行事クリスマス会に協力出演させていただきました。

例会では会員の希望により毎回リクエストで6~7曲を選び、四季の移ろいを手に載せて楽しんでいます。活動後のミーティングタイムは親睦を深め、今後の計画を話し合い情報交換の大切な一時です。恒例になった食事会・12月のすみれ会クリスマス会は各自の一年の成果を発表し合う楽しみの行事となっています。

### 【三田絵手紙サークル】

1. 体制 代表:片山善衛 会計:宇賀神聡子 部員:10名

例会:毎月第2木曜日 午後1時30分~4時 OHP付き

会場:東京都障害者福祉会館 講師:本間有豊 月謝:500円

#### 2. 活動報告

絵手紙の基本である「ヘタでいい、ヘタがいい」。ハガキに思い思いに楽しく描いて、切手をはり、ポストイン。季節の花・果物・作物など適当な題材を自由にえらびます。昨年は富士山の裾野にある小池邦夫先生の美術館を一泊二日で鑑賞してきました。

3月の耳の日記念文化祭では、各作品展示と体験コーナーを開設し観客を楽しませました。

### 【読話サークル】

平成5年に設立して満20年を迎え、7月にはOB会員も招き、福祉会館でささやかな記念交流会を開きました。発足以来会員が発語して他の会員が読み取る読話学習を続けています。楽しく学ぶをモットーに、時の話題や身体の部位名、それらの言葉を使ってステップアップ出来る練習問題を工夫し読話練習してきました。

### 【昼の読話サークル】

平成25年5月15日東京都障害者福祉会館にて設立

平成25年6月より「(A)第1・第3水曜日グループ」「(B)第2・第4水曜日グループ」として、

時間14時~16時でスタートしました。

#### 1. 体制

運営委員

・代表: 井上春江(A) ・副代表: 鈴木蘭子(B) ・会計: 田原達代(A) ・副会計: 中尾ミヨ(B)

・委員: 井出裕子(A)・今野マス子(A)・浅見和子(B)・山口純子(B) ・講師: 桜井武志

#### 2. 活動

・(A)第1・第3水曜日

6/5・6/19・7/3・7/17・8/7(合同昼食交流会:新宿区)8/21・9/4・9/18・10/2・10/16・11/6・11/20・12/4・12/18・1/1・1/15・2/5・2/19・3/5・3/19

・(B)第2・第4水曜日

6/12・6/26・7/10・7/24・8/7(合同昼食交流会:新宿区)・8/28・9/11・9/25・10/9・10/24・11/13・11/27・12/11・12/25・1/8・1/22・2/12・2/26・3/12・3/26

### 【天文サークル オリオンの会】

1. 体制 代表:藤田克己 会計:押田深雪 会員数 6名

協働団体:全国要約筆記問題研究会東京支部、新宿区字幕作成サークル「バックコート@」他

#### 2. 活動

字幕付きプラネタリウム開催〈新宿(年2回)・六都(新規)・世田谷(年1回)〉

UD天文教育研究会参加(於国立天文台)、天文カフェ(三田)開催、字幕プラネタ見学(名古屋)